

# ツルヨシ群落



分布	本州から九州、沖縄に分布。 <sup>(1)</sup>
生態	川の上流域の河岸や砂礫地に多く生える。つるは細長い円柱形で地上を這い、節ごとに分枝する。茎は円柱形で高さ 1～1.5m になる。中空で節に短い軟毛がある。 <sup>(1)</sup>
配慮事項	上流域のツルヨシ群落は河川の景観を特徴づけるほか、昆虫や小動物の生息の場としても利用されている。 <sup>(1)</sup>

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

# オオタチヤナギ群落



分布	北海道(南西部)、本州(北陸地方、近畿地方以西)、四国、九州に分布。 <sup>(1)</sup>
生態	高木で、小枝は緑色ないし灰緑褐色で、はじめ密にあるいはまばらに短毛をしくが、のち無毛となる。枝は分岐点が多、この部分は折れやすい。 <sup>(2)</sup>
配慮事項	護岸樹として利用する場合は、繁茂のしすぎにより洪水時の流れを阻害しないよう適度な選定や間伐等の管理が必要となる。 <sup>(3)</sup>

(1) 山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花、石井英美・崎尾均・吉山寛ほか、2000

(2) 日本の野生植物(大本Ⅱ)、佐竹義輔・原寛・亘理俊次・富成忠夫、1989

(3) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996



# タコノアシ



区分	環境省レッドリスト: 準絶滅危惧 宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	本州、四国、九州に分布。 <sup>(1)</sup>
生態	山間地の湿地や河川のワンドなどに生育。高さ60cm前後の多年生草本。葉は細長く、幅10cm、長さ7~8cm程度。花期は9月で、茎の先に穂状の花序を数個つける。
配慮事項	自生地はやや多いが、個体数は減少している。自生地の開発、河川改修による影響が懸念される。 <sup>(1)</sup>

(1) 宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物、宮崎県、2000

# ヒメミソハギ



区分	宮崎県版レッドリスト:絶滅危惧 I B 類
分布	本州～沖縄県に分布。 <sup>(1)</sup>
生態	水田や湿地に生える一年草。茎は直立し、毛はなくて、4稜があり、枝を分け、高さ 10～30cm になる。花期は 9～11 月で、集散花序をなし腋生する。色は紅紫色。 <sup>(1)</sup>

(1) 日本の野生植物(I)(II)(III)、佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫、1982